

～ 認知症講演会 ～

支える側が支えられるとき ～認知症の母が教えてくれたこと～

藤川幸之助氏講演会

11月20日(木)

参加無料

扉

認知症の母を
老人ホームに入れた。

藤川幸之助

認知症の老人たちの中で
静かに座って私を見つめる母が
涙の向こう側にぼんやり見えた。

私が帰ろうとすると

何も分かるはずもない母が

私の手をぎゅっとつかんだ。

そしてどこまでもどこまでも

私の後をついてきた。

*

私がホームから帰ってしまおうと

私が出たといった重い扉の前に

母はびったりとくっついて

ずっとその扉を見つめているんだと聞いた。

それでも

母を老人ホームに入れたまま

私は帰る。

母にとっては重い重い扉を

私はひよいと開けて

また今日も帰る。

『満月の夜、母を施設に置いて』(中央法規)

時間
14:00～
16:30

場所
市民会館
中ホール

どなたでも参加
出来ます

★プロフィール★

- 詩人・児童文学作家、日本児童文学者協会会員。
- 1962年生。長崎大学教育学部大学院修士課程修了。
- 認知症の母親に寄り添いながら、命や認知症を題材に作品を作り続ける。著作に、最新刊『徘徊と笑うなかれ』(中央法規)、ポストカード詩集『命が命を生かす瞬間』(東本願寺出版)、詩文集『まなざしかいこ 認知症の母と言葉をこえて向かいあうとき』(中央法規)、写真詩集『この手の空っぽはきみのために 空けてある』PHP出版、『手をつないで見上げた空は』(ポプラ社)、『満月の夜、母を施設に置いて』(対談・谷川俊太郎 絵・松尾たいこ(中央法規))、『やわらかな まっすぐ』(PHP出版)、『君を失って、言葉が生まれた』(ポプラ社)、絵本『大好きだよ キヨちゃん。』(クワイイツかもがわ)、『ライスカレーと母と海』『マザー』(ポプラ社)、CD版『マザー』(ポプラ社)『こころインデックス』(教育出版センター)等。共著に『人間というちの相(すがた)』(4)(東本願寺出版)天童 荒太他、『私、パリの認知症です』(クワイイツかもがわ)、『長崎の童話』『熊本の童話』(共にリブリ出版)等多数。
- 全国各地で、認知症への理解を深めるため講演活動を行っている。また、「子ども達にどのように認知症を伝えるか」「命に寄り添う」というテーマで研究を進め、大阪大学大学院や長崎大学、活水大学などの大学でも講義や講演を行っている。
- 長崎市立晴海台小学校校歌作詞作曲。
- 著書をもとにNBC長崎放送が制作したラジオ番組「マザー」詩人藤川幸之助が綴った母との瞬間が平成16年度民間放送連盟賞最優秀賞受賞、文化庁芸術祭参加作品となる。
- NHK「社会福祉セミナー」に「いのちをうたう」2013年4月より連載中。

ウェブページ <http://www.k-fujikawa.net/>
ブログサイト <http://www.k-fujikawa.net/wordpress/>



写真提供：東海新聞社

主催：恵庭市グループホームネットワークの会

後援：恵庭市

お問合わせ：0123-36-8477 (担当 寺澤)